

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。3月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り(詳細は2022年5月号参照)。

でん粉の需給見通し	
【令和2でん粉年度(実績)】	
需要量	237万7000トン(前年度比3.5%減)
供給量	241万8000トン(同3.0%減)
【令和3でん粉年度(見通し)】	
需要量	244万トン(同2.7%増)
供給量	246万1000トン(同1.8%増)

表1 でん粉の需給見通し

(単位:千トン)

		令和元でん粉年度 (実績)	令和2でん粉年度 (実績)			令和3でん粉年度 (見通し)			
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,666	750	871	1,621	747	883	1,630	
	化工でん粉	301	121	141	263	145	142	287	
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	495	221	271	494	247	277	523	
	合計	2,462			2,377			2,440	
供給	前年度繰り越し	14			32			40	
	国産いもでん粉(生産量)	国産いもでん粉(生産量)	208	186	—	186	171	—	171
		かんしょでん粉	28	21	—	21	21	—	21
		ばれいしょでん粉	180	165	—	165	150	—	150
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,108	936	1,112	2,048	963	1,123	2,086
		輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	138	60	65	126	68	68	136
	輸入でん粉(その他用)	9	5	5	11	6	7	13	
	小麦でん粉	16	8	8	15	8	8	15	
	合計	2,493			2,418			2,461	
	次年度繰り越し	32			40			21	

資料:農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1:でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2:ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和3年10月～令和4年3月 (見込み)			令和4年4月～9月 (見通し)			令和3でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	5	14	19	6	10	15	11	24	35
		化工でん粉	1	21	22	0	15	15	1	36	37
		その他	5	20	25	4	24	28	9	44	53
		小計	11	55	67	10	48	58	21	103	125
	その他の用途	0	28	28	0	37	37	0	65	65	
	計	11	84	95	10	85	95	21	168	190	
供給	前期からの繰り越し	6	34	40	16	100	116	6	34	40	
	生産量	21	150	171	0	0	0	21	150	171	
	計	27	184	211	16	100	116	27	184	211	
次期への繰り越し			16	100	116	5	16	21	5	16	21

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

4月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年4月のタピオカでん粉の輸入量は、9186トン（前年同月比46.3%増、前月比5.6%増）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナム、台湾およびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

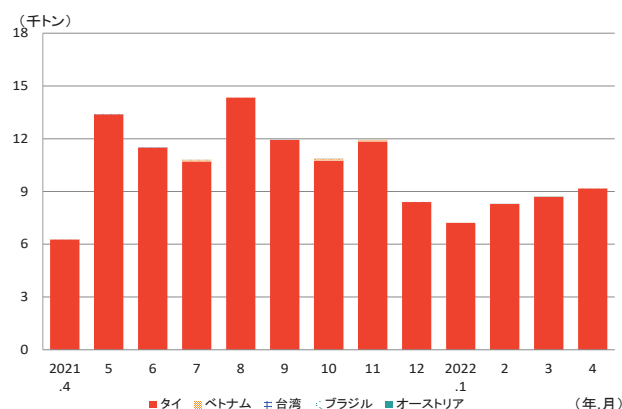
タイ 9173トン
（前年同月比46.2%増、前月比5.6%増）

台湾 7トン
（同13.4倍、前月輸入実績なし）

ベトナム 6トン
（同17.4%減、前月比58.8%減）

ブラジル 1トン
（前年同月および前月輸入実績なし）

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、6万7175円（前年同月比28.2%高、前月比8.3%高）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

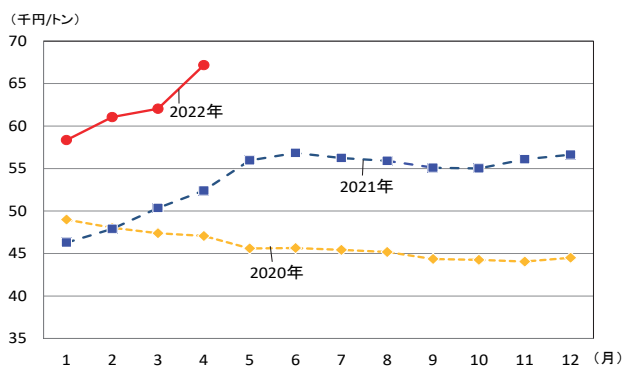
国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 6万6833円
（前年同月比28.3%高、前月比8.1%高）

台湾 36万3926円
（同24.7%安、前月輸入実績なし）

ベトナム 16万8403円
 (同42.1%安、前月比5.8%安)
 ブラジル 89万2000円
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

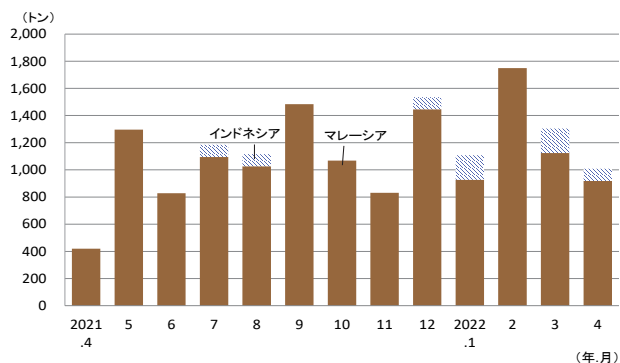
4月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年4月のサゴでん粉の輸入量は、1008トン（前年同月比2.4倍、前月比22.7%減）と、前年同月から大幅に増加した(図3)。

輸入先はマレーシアおよびインドネシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 918トン
 (前年同月比2.2倍、前月比18.3%減)
 インドネシア 90トン
 (前年同月輸入実績なし、同50.0%減)

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



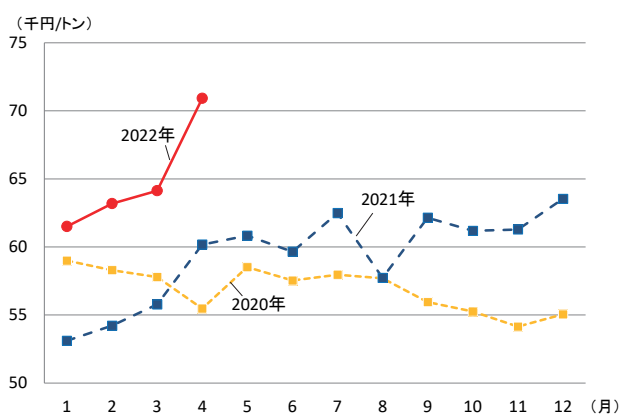
資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、7万922円（前年同月比17.9%高、前月比10.6%高）と、前年同月を大幅に上回った(図4)。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 7万1464円
 (前年同月比18.8%高、前月比11.0%高)
 インドネシア 6万5389円
 (前年同月輸入実績なし、同4.7%高)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

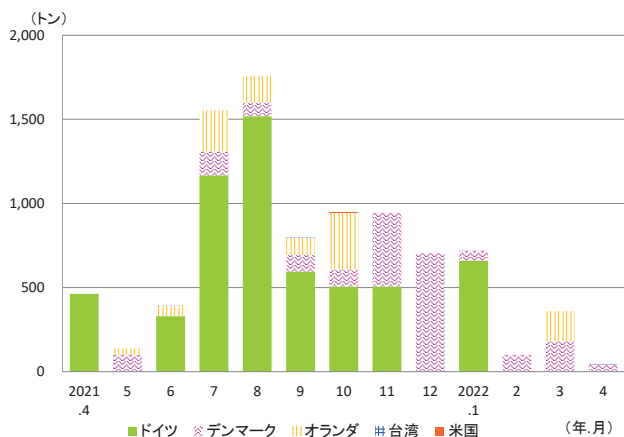
4月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年4月のばれいしょでん粉の輸入量は46トン（前年同月比90.0%減、前月比87.2%減）と、前年同月から大幅に減少した(図5)。

輸入先はデンマークおよび台湾で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

デンマーク 43トン
 (前年同月輸入実績なし、前月比76.1%減)
 台湾 3トン
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、11万7000円（前年同月比32.8%高、前月比25.2%高）と、前年同月を大幅に上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

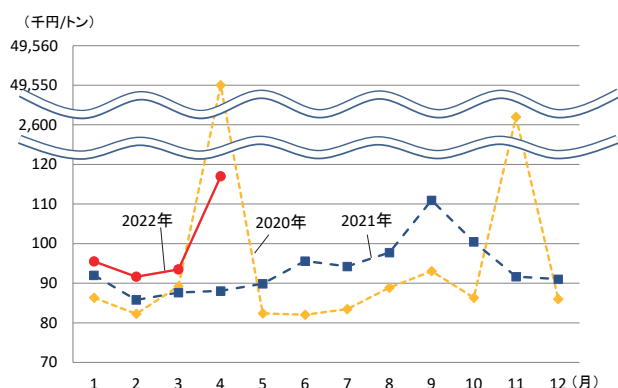
デンマーク 10万2744円

（前年同月輸入実績なし、前月比11.6%高）

台湾 32万1333円

（前年同月および前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

4月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2022年4月のでん粉誘導体の輸入量は、4万7629トン（前年同月比2.5%減、前月比27.1%増）と、前年同月からわずかに減少した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先は17カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約8割を占めており、次いでデンマーク、フランスとなっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（4月）

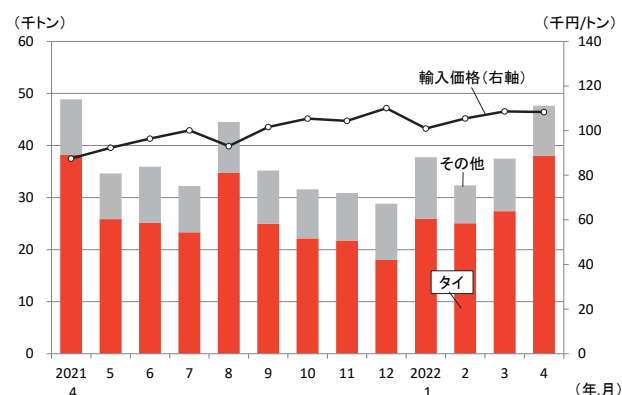
輸入先	輸入量（トン）	シェア
合計	47,629	100.0%
うち タイ	38,001	79.8%
デンマーク	1,627	3.4%
フランス	1,385	2.9%
豪州	1,380	2.9%
ベトナム	1,292	2.7%
ドイツ	838	1.8%

資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、10万8324円（前年同月比23.8%高、前月比0.2%安）と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

4月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2022年4月のデキストリンの輸入量は、1507トン（前年同月比2.4%減、前月比33.1%減）と、前年同月からわずかに減少した（図8）。

デキストリンの輸入先は9カ国・地域で、輸入量は上位輸入先の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の約8割を占めている（表4）。

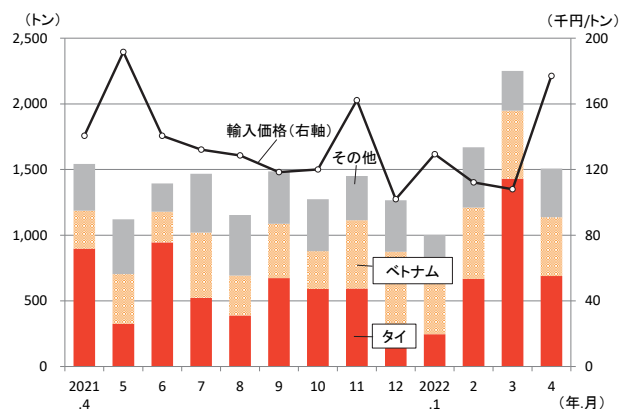
表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（4月）

輸入先	輸入量（トン）	シェア
合計	1,507	100.0%
うち タイ	689	45.7%
ベトナム	449	29.8%
マレーシア	117	7.8%
米国	96	6.4%
ベルギー	55	3.7%
フランス	39	2.6%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、17万7035円（前年同月比25.9%高、前月比63.9%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

4月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年4月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、22万1071トン（前年同月比18.1%減、前月比37.0%減）となり、前年同月から大幅に減少した（図9）。

輸入先は、米国、南アフリカおよびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

米国 17万9067トン
（前年同月比33.7%減、前月比47.0%減）

南アフリカ 3万5925トン
（前年同月および前月輸入実績なし）

ブラジル 6079トン
（前年同月輸入実績なし、前月比53.3%減）

2022年4月の1トン当たりの輸入価格は、4万4258円（前年同月比37.9%高、前月比5.8%高）と、前年同月を大幅に上回った。

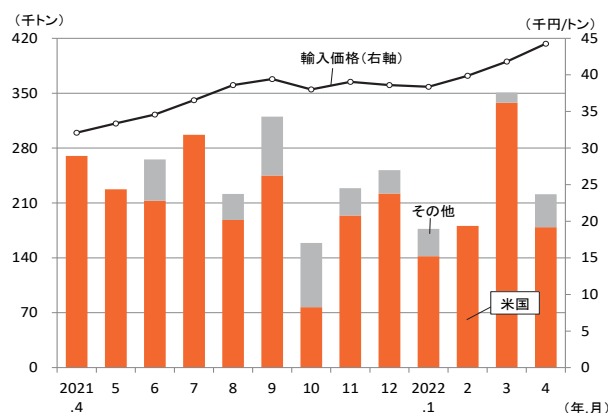
国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 4万4571円
（前年同月比38.8%高、前月比6.2%高）

南アフリカ 4万3454円
（前年同月および前月輸入実績なし）

ブラジル 3万9784円
（前年同月輸入実績なし、前月比3.9%高）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091